

東北社会学会・東北学院大学地域共生推進機構共催 平成29年度第2回CSW公開研究会 「大震災被災地における地域社会の再編」

東日本大震災から6年が経過し、ようやく災害後の居住場所が定まってきた現在、移住した場所でいかにして地域社会を再構築するのかが、喫緊の課題となっています。地域社会再構築の現状と課題を、個々の具体的事例に即して、住民や自治会、社会福祉協議会、自治体など再編にかかわるさまざまな担い手の動きに着目して考えます。

日時：

平成29年7月16日（日）13時から16時40分

会場：

東北学院大学土樋キャンパス
ホーイ記念館地階ホール

申込不要
入場無料

内容：

挨拶

阿部 重樹（東北学院大学地域共生推進機構長、本学経済学部共生社会経済学科教授）

趣旨説明および司会

永井 彰氏（東北大学大学院文学研究科・文学部教授）

報告

1. 復興公営住宅における原発被災者のコミュニティ形成と地域社会の再編
高木 竜輔氏（いわき明星大学人文学部現代社会学科准教授）
2. 被災者生活支援員（LSA）とコミュニティづくり—南三陸町災害公営住宅の事例から—
本間 照雄（東北学院大学地域共生推進機構特任教授）
3. 阪神・淡路大震災の復興過程における災害復興公営住宅のコミュニティ形成と課題
伊藤 亜都子氏（神戸学院大学現代社会学部社会防災学科教授）

コメンテーター

佐久間 政広（東北学院大学教養学部地域構想学科教授）

菅 磨志保氏（関西大学社会安全学部安全マネジメント学科准教授）

全体討論

※第64回東北社会学会大会課題報告（シンポジウム）を一般公開するものです。